

技術紹介

日本海側最大級の斜張橋

～新湊大橋 鋼桁部東工区について～

The Shin-Minato Cable-stayed Bridge

桐山 忍*1

米倉 健二*2

中川 二郎*3

Shinobu KIRIYAMA

Kenji YONEKURA

Jiro NAKAGAWA

はじめに

新湊大橋は臨港道路富山新港東西線のうち富山県射水市海王町地先～同海竜町地先に架橋中の日本海側最大級の5径間連続鋼・コンクリート複合斜張橋です。本橋は大空間の国際航路（幅270m、海面上の高さ47m）を跨ぐことから、橋長600m、中央径間長360m、主桁間部桁下高約50m、主塔高125mと大規模です。上部工構造は、中央径間を軽量の鋼床版箱桁、側径間を重量の大きなPC箱桁として、重量バランスを図ることにより中央径間のロングスパン化を行っています。斜ケーブルはファン形式マルチケーブル2面吊構造で、景観を考慮したカラーケーブルを採用しています。側径間には、PC桁への曲げモーメントを軽減、上部工の地震時慣性力を分散する目的で中間橋脚が設けられ、全体として5径間連続構造となっています。幅員構成は対面2車線で有効幅員9.5m、主桁下面に自歩道を吊下げる特徴的な構造となっていま

す。主塔はA型で大空間の航路を確保するために、主塔高さ125mと高くし、塔上部のコーナー部を隅切りし、耐風安定性を考慮した構造となっています。

工事概要

本工事の橋梁諸元及び工事概要を示します。

工事名：伏木富山港（新湊地区）道路（東西線）
橋梁（P22～P23）上部工事（その2）

橋の重要度：B種の橋

橋梁形式：5径間連続複合斜張橋

橋長：600m

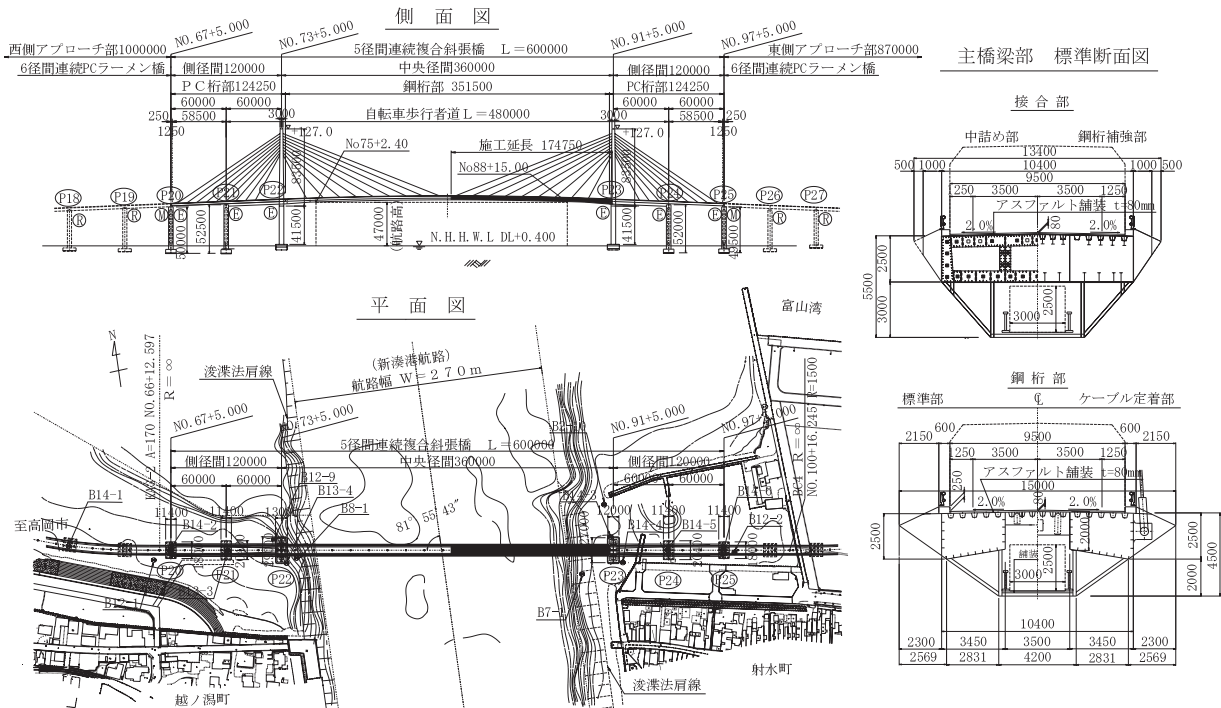
支間長：58.5+60.0+360.0+60.0+58.5m

幅員：10.7m

上部工形式 中央径間 鋼床版2室箱桁

側径間 PC3室箱桁

自歩道 吊下げ方式



*1 川田工業株式会社橋梁事業部工事事務部東京工事事務課 係長

*2 川田工業株式会社生産本部四国工場橋梁技術課

*3 川田工業株式会社橋梁部技術部大阪技術部設計二課 係長

